

大きなけやきの木の下で 絵本のはなしをしましょうよ。



2024 年 10 月のはじめごろ こまばようちえん

みなさま、こんにちは！

10 月になりました。実りの秋、読書の秋ですね。

今年はいつまでも気温が高いので、紅葉の見頃は少し遅くなりそうです。園庭のけやきもイチョウも桜も、いつごろ変身しようかと相談しているかもしれませんね。こどもたちがハラハラ舞い散る葉っぱのしたで遊んでいる姿はとてもステキ。秋深しの幼稚園の景色が楽しみです。

では、大きなけやきの木の下で、絵本のはなしをいたしましょう。

① たんぽぽ組・年少組のみなさんに。

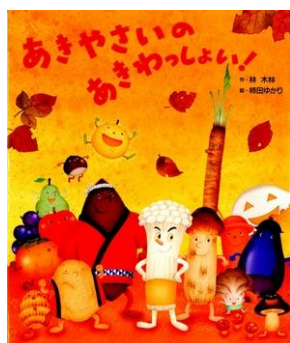


●『どんぐりくりくりおともだち』

すとうあさえ・文 林なつこ・絵 ほるぷ出版 1,188 円/2024 年

どんぐりのかっちゃん、しいちゃん、くうちゃんは仲良し 3 人組。秋の林で遊びます。葉っぱのブランコをこぎすぎて、「ひゃー」。みんな、コロコロころがって、「あれ、ぼうしがな

ーい」。くうちゃんの帽子が行方不明。でも大丈夫。ちゃんと見つかりますから。どんぐり3人のかわいらしいこと。特に一番小さなかつちゃんは、転がってる時も、いつもニコニコ笑ってます。秋にほんのり紅葉するネコジャラシもきれいです。どんぐり拾いに行きましょう。（二十四節気ごとの季節のお話、「はじめてのこよみえほん」シリーズ2作目です。9月下旬に出版されました。今回の季節は「寒露（朝晩ぐんと寒くなり葉に降りる露も冷たくなる頃）」です。）（須藤）



● 『あきやさいのあきわっしょい』

林木林・作 柿田ゆか・絵 ひかりのくに 1485 円/2014 年

秋の実りが次から次へとにぎやかに登場します。1 場面目の「はたけひろばは あきまつり。おいものおみこしがしゅっぱつしました。わっしょいも！ わっしょいも！」。このノリ。「わっしょいも!」とおみこしをかついでいるのは、「いも!」です。作者の林さんは言葉遊びの達人です。「エッサと ホイさと」（里芋）、「ちょっとまってくり!」（クリ）、「まいったけ?」「なめんなよ」（舞茸となめこ）などなど、ダジャレ満開。私がとくにはまったのは、「レッツ ゴボー!」（ごぼう）。最後はみんなで秋の料理に変身します。秋野菜パーティのはじまりです。

（須藤）



● 『やさいのおなか』

きうち かつ 作 (福音館書店) 1997 年/1100 円

突然ですがお尋ねします。表紙のモノトーンは何の野菜のおなかでしょうか。…そう、「かぼちゃ!」。という具合に、いろんな野菜を順々に当てる楽しい絵本です。ネギ、ピーマン、レンコン、トマト、サツマイモなど、実に 11 個のおなじみかつ個性的な野菜のおなかが登場。その見せ方のアプローチが素晴らしいのなんの。まずは白黒、次にはそれに色がつく。最後はそれぞれの正解ページで、写実的な野菜の断面図と全体像が現れる。いやはやそれだけでも楽しいのに、野菜を縁取る枠の色が重要なヒントになっています。さらに裏表紙…12 個めの〈?〉に入る野菜をあなたなら何にする?と、作者が読者へ向けて遊びゴコロを投げかけているかのよう。その配慮と演出に脱帽。読んで楽しんだ後は、野菜スタンプで盛り上がるのもいいですね♪(近藤)



●『ねずみさんのながいパン』

多田 ヒロシ (こぐま社) 2000 年/990 円

タイトル通りの表紙。ねずみさんが長いフランスパンを抱えて走っているのだけれど、そのパンなんと、ねずみさんの 6 倍もあろうかというんでもない長さ。どうやら家へ持ち帰る途中らしい。通りかかる動物たちの家は、外観も食事風景も、それぞれの「らしさ」がいいなあ。ゾウやライオン、ウサギなどの様子を納得。個人的には天敵のネコの家の様子も知りたかったです(笑)。果たして自分の家に帰りついたねずみさんは、その長~いパン(と、大きなチーズ!)を囲んで、家族みなでごはんの時間です。多産のネズミだけに、いったい何匹いるのか?数えなくなるほどのあっぱれ大家族。一匹ずつの様子を観察する楽しさも味わえます。それにしてもおなかがすいてきました。(近藤)

② 年中・年長組のみなさんに。



●『おこめをつくる のうふののふさん』

室井さと子・作 新日本出版社 1540 円/2021 年

農夫ののふさんは、お米を作っています。物語は種もみをまくところから始まります。のふさんはねこのブウとやぎのメイとにわたりのケッコとコッコと暮らしています。裏山のきこりのきこさんや近所の人たちと助け合いながら米作りをしています。雑草をとったり、台風が来るとイネが倒されてしまうので寝ないで様子をみたりします。稲の実が実って田んぼが黄色く輝くと、稲刈りです。新米をお米屋さん、パン屋さん、せんべい屋さんたちが買いにきます。そしてみんなで収穫祭をします。のふさんのお米づくりの日々が素朴な絵と文章で綴られています。こまば米の収穫も楽しみです！（須藤）

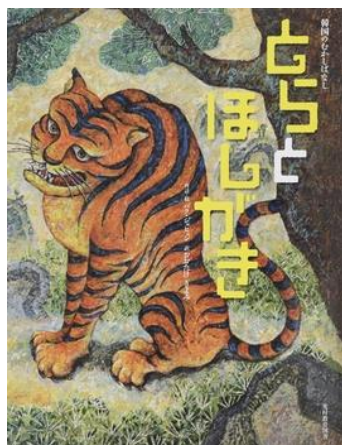


●『とってもすてきなうちです』

なかがわちひろ・文 高橋和枝・絵 アリス館 1650 円/2023 年

「とってもすてきなうちです」と言って、アリやチョウチョやクモ、ツバメ、そしてネコ

が、それぞれのおうちを案内してくれます。ありの家は広くて、部屋もたくさんあるし、夏は涼しくて冬は暖かい。けれど困ったこともあります。時々、ザクザクひっくり返されることです。でも、どうってことありません。あなを掘るのは得意ですから。こんな具合にそれぞれのお家紹介は進んでいきます。猫は家で困ることは、「めしつかい（かわいい男の子）がしつこいこと」だそうです。地面に近い生き物たちがそれぞれのステキな家で暮らしているんだと思うと、なんともいえない幸福な気持ちになります。（須藤）

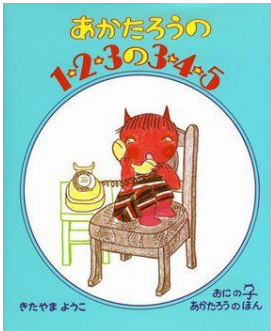


●『韓国のむかしばなし とらと ほしがき』

パク・ジェヒョン 再話・絵 おおたけ きよみ 訳（光村教育図書）

2006年/1760円

干し柿はお好きですか？わたしは大人になって大好きになりました。もうすぐ店頭に並ぶのが楽しみ。というわけで、干し柿がキーとなる韓国のむかしばなしのご紹介です。ある夜、家畜の牛を食べようと人里におりてきたトラが、泣いている幼な子をあやすお母さんの言葉を聞きつけます。オオカミが来るといってもクマが来るといってもトラが来るといっても泣き止まない幼な子は、お母さんが干し柿をあげたらピタリと泣き止みました。干し柿を知らないトラは、それがこの世の王である俺さまより恐ろしいものだと思い込んで逃げ出そうとしたまさにその時、先にしのびこんでいた牛どろぼうに牛と間違えられ、背中に飛び乗られてしまいます。恐ろしい干し柿に乗られたと思い込んだ牛は、「アイゴー！」どろぼうを乗せたまま猛然と走り出しました…。←アイゴとは、驚きや悲しみ・感嘆を表す韓国語。有名な日本のむかしばなし『ふるやのもり』を思い出される方も多いでしょう。古くはインドにも似た話があります。味のある力強い絵も魅力的。（近藤）



●『あかたろうの 1.2.3 の 3.4.5』

きたやま きょうこ 作 (偕成社) 1977 年/990 円

赤オニのあかたろうが外から帰ってくると、あれ？おかあさんがどこにもいません。おかあさんはきっとおばあちゃんのところにいると考えたあかたろうは、おばあちゃんの家に電話をかけます。おばあちゃんから聞いたおかあさん情報を皮切りに、あかたろうの「おかあさんの追跡・電話作戦」が始まります。まもなく帰ってきたおかあさんは、待っていたあかたろうに、買ってきたものを次々に言い当てられて心底ビックリ！

冒頭ではあかたろうに同化して不安になる読者の子どもも、あかたろうといっしょに、おかあさんを追跡する電話作戦にワクワクすることでしょう。おかあさんの作ってくれたエビカレーのおいしそうなこと。懐かしいダイヤル式電話など、どこなく昭和感があるのもキュン。3巻までシリーズがあります。(近藤)

③ 大人のみなさんに。



●『いつもとちがう水よう日』

丸山陽子・作 小学館 1540 円/2024 年

惹きつけて満足させ、なおかつ大人をもうならせる物語とはどんなものかを、いつもわたしに教えてくれます。一緒に読めば、年長さんも楽しめると思います。最後に、この本をオススメするからといって、子どもには早く字をおぼえさせましようとお伝えしたいわけではないことを書き添えておきますね(笑)。(近藤)



●『シルベルトの風』

マリー・ホール・エッツ 作 たなべ いすず 訳 (富山房)1975 年/1540 円

「ぼくは シルベルト そして これは ぼくと かぜの おはなし」
はああああ……(深い感嘆のため息)。読み返すたびに、マリー・ホール・エッツの紡ぎだす物語世界に心奪われます。“「ちいさな子ども」と「風」の交歓を、こんなにも静かに、こんなにも美しく、絵本として昇華できるなんて。大人としての“されど、絵本”を満喫させてもらえる、珠玉の名作だと断言したいです。見かけはとんでもなく地味なんですけれどね。いや、だからこそその魅力なのかも。シルベルトの表情を追いかけるだけでも論文 1 本書けたりして(書かないけど)。

「かぜくん！ ねえ かぜくん！」変幻自在の“風”に呼びかけながら、自分だけの遊びの世界を豊かに生き楽しむシルベルトに目が離せません。尊いなあ。けれど、ことさらに子どもを“美化”しているわけではない。エッツ自身の“内なる子ども”が、大人としてのエッツ自身に書かせたのではなかろうか。…などと勝手に夢想して、心鎮まる心地よさに浸ってしまうわたしです。(近藤)

・絵本はざっくりと次のように対象年齢にそって紹介していきます。ただ対象年齢はあくまで目安です。お子さんが興味を示した絵本、お子さんに読んであげたいと思った絵本を見つけたら、手にとってみてください。

- ① たんぽぽ組・年少組のみなさんに②年中・年長組のみなさんに③大人のみなさんに
・「重版未定」の絵本も積極的に取り上げます。図書館に入っていますし、リクエストが

多くなると復刊される可能性もあります。

- 紹介した絵本は重版未定(中古品)も含めて藤井チズ子前理事長からいただいた寄附金で極力購入し、本の部屋に入れます。藤色のテープが目印です。